

第11回 新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会会議録（要旨）

会 議 名	第11回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会
日 時	平成23年11月28日（月） 午後2時～3時30分
場 所	和泉小学校 家庭科室
出 席 者	協議会委員23名（欠席7名）
区 関 係 者	学校適正配置担当課長 教育改革推進課長 関係職員
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 設置協議会中間報告書（案）について 2 他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について 3 その他
資 料	<p>（資料1）設置協議会中間報告書（案）</p> <p>（資料2）他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について</p>

会長	<p>これから第11回新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会を開催いたします。</p> <p>まず、事務局から本日の予定について説明をお願いします。</p>
教育改革推進課長	<p>配付資料の確認をさせていただきたいと思います。</p> <p>次第、席次表、グリーンのA3判のもの、事前に設置協議会中間報告書を送らせていただいています。その後、「他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について」、A4横の2枚ものとなっております。</p> <p>それでは、本日の予定ですが、この資料1の「設置協議会中間報告書（案）について」と、資料2「他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について」となっています。</p> <p>前回の協議会までに委員の皆様で協議いただきました小中一貫教育校の基本設計について、本協議会の中間報告という形でまとめさせていただきましたので、その内容につきまして報告させていただきます。また、「他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について」につきましては、資料に沿って改めてご報告させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>まず、議題1の「設置協議会中間報告書（案）について」、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
教育改革推進課長	<p>「杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校の開校に向けて」と「設置協議会中間報告書」についてご説明をさせていただきます。通常、改築をする場合は、改築検討協議会の中で基本設計がほぼでき上がったときに区長部局にこういうふうにとまりましたと提案するものなのですが、設置協議会の場合、その中で基本設計もさせていただいております。このため、中間報告という形で、主に校舎の基本設計につきましての報告という形でまとめております。</p> <p>1枚目が目次で、「はじめに」がありまして、1ページから、昨年度からいろいろお話しさせていただきました基本的な考え方、主に昨年度まとめた事項、3ページ以降に本件敷地とか、建物の状況につきましてまとめております。具体的には4ページから、協議会の皆様方に検討していただいたことをコンパクトにまとめて記載しております。</p> <p>第1回目、会長の選任とこれからの進め方、第2回、5ページには、足立区の新田学園を視察しましたので、校舎の様子を載せさせております。6～7ページは、主に小中一貫教育校の教育内容にかかわる基本的な考え方につきまして、皆様からご意見をいただいた内容を記載しています。8ページ、第5回目協議会につきましては、プロポーザルによって基本設計を定めることとその報告をした内容と、今年度は第6回からになります。新泉・和泉地区小中一貫教育校基本設計の概要ということで、選定業者の提案の説明をさせていただきました。</p>

10ページ、第7回、松溪中と天沼小学校、区内の新築学校を見学しました。第8回は、第7回の視察を踏まえて、出たご意見をまとめております。その間、7月と8月に校庭部会を設置して、その中で具体的に部活動と小学校の兼ね合い、芝生とクレークートの位置づけ等につきましてご検討をいただいた内容を書いております。

14ページ、第9回協議会で、これまでのご意見を踏まえた新しい教室等の配置計画を定めさせていただいて、最後、10回の9月26日で最終的なご意見を踏まえて、会長と事務局に一任させていただいた基本設計ができましたという流れになってございます。

内容等につきましては、特に何か加えたほうがいいものですか、ここはちょっと違うんですとか、そういったものがありましたらぜひお願いしたいと思います。

また、基本的な資料といたしまして、20ページ以降、新しい学校の基本計画、どういうコンセプトのもとにつくられているかということと、22ページ以降に基本設計の平面図を載せていますが、きょうお渡ししましたA3判の設計図面に変更したいと考えています。

最後、26ページ以降で「今後の設計に向けた意見・要望」ということで、最終的にいただきました芝生の関係、可能な限り設計のほうでも芝生を取り入れてほしいですか、学校は学びの場であると同時に、地域住民の命を守る震災救援所という側面もあるので、震災を受けまして、地震や浸水に対する対策を万全にしてほしい。また、普通教室周りのオープンスペース・少人数教室等は、今後の設計の段階で詳細な検討をしてほしい。また、中学校の改修につきましては、校舎内の採光に配慮していただきたいという、これからの実施設計に向けての要望を記載する形にさせていただいております。

最後に「おわりに」ということで、まとめた部分を記載しています。29ページ以降はプロポーザルの実施要領、報告として「新泉・和泉小中一貫教育校設置協議会ニュース」を記載しております。

構成はこのようなものと考えてございます。ただ、この場で非常に申しわけないというか、おわび申し上げなければならないことがございます。こちらの22ページ以降の基本設計案、きょうお渡ししたものとほぼ同様でございますが、本来、協議会を設置いたしまして、区民の皆様ですか、地域の代表者の方々がこういう設計がつけられた場合、基本的にそれをベースに区長部局でも検討いたしまして、これまでの学校につきましてはほぼそのとおり改築するような形で進めてきております。

ただ、今回は、さきに先週、先々週に、新泉小学校と和泉小学校のPTAの方々を中心にご説明させていただいた中でもお話しさせていただきましたが、

	<p>ここ数年来のリーマンショックを契機とした景気の減退がありまして、もともと来年、再来年は、ちょうど地方税が1年おくれで来る関係で、税収が厳しい状況が予想されておりました。それに、今年の3月11日の大震災を受けまして、その後、放射能対策ですとか、被災地への支援ですとか、そういったお金がかなり出ている状況でして、ここ2～3年は財政当局のほうでも聖域なし見直しをせざるを得ないということで、学校だからといってそのとおりやるわけにはいかないというような状況になってございます。</p> <p>そういった中で、当初、この学校は1万4,000平米程度でプロポーザルのときに想定して、新しい校舎部分が26億、改修部分が10億程度ということでプロポーザルを進めてきました。皆様のいろいろなご要望、さまざまなことをお受けした結果、今現在、1万5,000平米をちょっと超えているような状況になってございます。その1,000平米分の平米当たりの単価はほぼ30万前後で決まっていますので、その分どうしても、上がってしまう関係で非常に厳しい状況になっております。何かを削ってかわりのものにしないと、今の設計をそのままいくのは非常に難しい状況になってございます。</p> <p>そういった中で、今、この目玉とさせていただいておりますのが、プールを屋内式にして、それを昇降式にすることによって、5月から10月ぐらいまで使えるようにし、空いている時期は地域の方へも開放するというお話をさせていただきましたが、昇降式にすることによって単純計算でも6,000万、ガラス張りのドームにすることによって1億ちょっと上乘せになるということで、プールの屋根部分を残すことによってほかの部分、例えば外断熱ですとか、さまざま児童・生徒のためにいろいろ使わなければならないところを少しずつランクを落とすですとか、そういうことをしなければならない状況になります。</p> <p>そういったことを考えますと、やはり学校ですので、児童・生徒にかかわるところにつきましてはなるべく予算をつけて、大変申しわけないのですが、プールは当初どおり中学校のプールをそのまま生かして、中学校と小学校、2つのプールを設置することによって、屋根の部分はやらないような方向にせざるを得ない状況になっています。その辺も踏まえていろいろご意見等をいただければと思いますとともに、何とかそれでご了承願いたいと思います。この内容を見ていただきまして、いろいろ訂正すべき点、つけ加えたほうが良い点ですとか、さまざまご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、今ありました設置協議会中間報告（案）及び今のプールのことも含めてご意見やご質問がございましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>今のお話ですと、結局、中学校のプールはそのまま生かして、小学校のプー</p>

	ルを今までのこのこのプールの位置につくるということですか。
教育改革推進 課長	そうです。屋内が屋外プールになってしまうということです。
委員	この設計図で3階の太陽光パネルと書いてある、ここがプールですよ。
教育改革推進 課長	そうですね。
委員	それで決定ですか。
教育改革推進 課長	今、最終的な見積もりを日本設計さんのほうで、何とかきょうに間に合わせたのですが、具体的に最終的なこのパーツが幾らという金額がしめされていません。一番変更しやすいところで、額を落としやすいところがプールなので、今までは屋内プールが1つだったのを屋外プール2つ、中学校と小学校部分という形で何とかさせていただきたいと思っております。
会長	実際のこの中間報告書は、今言ったように変更になったものが載るということですか。
教育改革推進 課長	そうですね。きょうこの中で、やはりどうしてもそこはメインだから残してほしいということであれば、ほかのところを削らざるを得なくはなるんですけども、子どもたちのほかの部分でお金をかけたいということで何とかご了承いただければ、今の屋内型のプールを屋上プール2つという形に、屋上部分だけ差し替えた形で報告させていただきたいと思っております。
会長	中間報告のことで言うと、まずそれが一番大事ですね。 そのプールの件ですけども、今のお話のような予算の問題ということであるそうですけれども、いかがでしょうか。
委員	プールを2つにしたときの水道代の問題とか、長い目で見たときにどっちが得なのかということは皆さんも知っておいたほうがいいのかと思います。維持管理費ですね。
教育改革推進 課長	水道代に関しては水の量だけになりますので、大体年間200万ですとか、その分ふえる程度です。逆にドーム式にしますと、その開閉式の維持管理ですとか、また、昇降式にすることによって、それも年間でメンテナンス契約を結びますと、水以外でコスト的にも1億7,000~8,000万上乘せになり、毎年のランニングコストもかかることになります。コスト的には2つあるほうが随分低くは抑えられます。ただ、地域の方に使ってもらおうという観点でドーム式にしようとお話しさせていただいてたんですけども。
委員	そうすると、この太陽光パネルはなくなるわけですか。
教育改革推進 課長	いえ、なくならなくて、太陽光パネルの位置をずらすような形になります。

委員	それは大丈夫なんですか。
教育改革推進課長	はい。もともと数的には検討中と記載させていただいておりました。もともと左側の屋上のところに太陽光パネルが何カ所かありますが、学校の10キロワット程度はこれでも十分とれていますが、さらに震災等もあったので、ふやそうかどうかということで今ちょっと検討していた状況です。
委員	先月の住民説明会に出させていただいて、初めて費用面の話が出されまして、削らなくてはいけないと。きょうもその話ですけれども、前回のお話だと、総額からある程度縮めなくてはいけないという話なんですね。校庭の緑化の費用ですけれども、今回の総額の中にどういう形で含まれているのかをちょっと知りたい部分があります。校庭の緑化に関しては国と東京都の補助金、ほぼ補助金で賄えると認識していますが、その辺と今回の総額から削られる予算との関係、影響が全然ないのかどうかをお聞きしたいんです。
教育改革推進課長	基本的に外構部分は建築費の総額に入っておりません。外構を27年度にすることになっていますので、今回の予算には入っていない状況になります。ちなみに、芝生は全額補助という形になっていて、上の草の部分はある程度補助金で賄えますが、全体的な土の改良ですとか、その経費がかかると、全部補助金でできるということではないです。芝生に関しましては、今、和泉小学校の特徴的なものでもありますので、計画どおりするような形で考えております。
会長	ほかにプール関係にかかわる部分でいかがですか。今、予算のことも出ていましたけれども。
副会長	プールについてはいたし方ないなと。大きな目玉だただけに残念だなという思いはありますが。ただ、何回にもわたって話をしてきて、部屋の間取りとか、採光とか、随分工夫してやってきたものであると思うので、ぜひ教育委員会のほうも頑張っていたいただければありがたいなと思います。
会長	じゃ、よろしいですか、プール関係のところ。地域に開放する時間を少し長くとうと。昇降式、ドーム型ということで考えていたわけですが、実際問題、ドームでなければ子どもの使う期間は7月から9月ぐらいまでの期間であって、ドームであっても1カ月間ぐらい延びるかどうかというところですので、そう考えれば影響的にはそれほど大きなところではないと判断せざるを得ないのかなと思います。いかがでしょうか。プール関係は今のことで協議会として了承ということでよろしいでしょうか。(異議なし)
教育改革推進課長	これまでこういった事例はちょっとなかったもので、本当に申しわけございません。ほかの部分ではできる限り、なるべくいい材質ですとか、そういうものにこれからやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

会長	<p>それでは、そのほかにここに書いてあります中間報告書の内容等、構成とか文言も含めて、細かいことでも構いませんのでお願いします。</p> <p>かなりボリュームのあるところなんですけれども、協議会の概要とかでまとめてくださっています。それから、その下に協議会で出てきたことをまとめてくださっているので、ここではこういう意見を載せておいてほしい、残しておいてほしいということがもしあればと思いますが、いかがですか。</p> <p>協議会として最終的にまとめなければいけないので、多分全部読めと言われると思ったので一応読みました。細かいことは幾つかあります。例えば1ページの(1)の のアのところ「9」がないとか。「9年間」ですね。</p>
教育改革推進課長	失礼しました。
会長	<p>それとか、26ページの(4) これも細かいことなんですけれども、ここだけ「いただきたい」となっているので、「ほしい」でいいんじゃないかとか。上は「ほしい」と書いてあるので。</p> <p>あと、次の27ページは、ちょっと文言を直したほうがいいかなというところはありましたが、読み上げません。それはまた後で話したいと思います。あとはとてもよくまとめていただいているなと思いましたけれども。</p>
委員	中間報告をまとめていただいて、今後の使い道といたしますか、どういう形になるのか、その辺を知りたいと思います。
教育改革推進課長	こちらは、教育委員会に報告させていただいて、その次に、具体的にこれに基づいて実施設計とかが始まりますので、また区議会、2月議会の文教委員会にこれを報告させていただいて、具体的に動いていきます。また、まちづくり条例の説明会もあります。この基本設計に基づいて近隣の方々にご説明しながら、基本的にこれでいきますという形で進めていくようになります。今度、教育委員会と議会のほうにこれを正式に提出して報告をするという形になります。
委員	例えば一般の方が閲覧可能ですとか、公開されるですとか、そういうことは。
教育改革推進課長	基本的にこれまでもいろいろホームページに資料ですとかを載せています。こちらにつきましても本日の資料として出ていますので、こちらも載るような形になります。あと、部数を多数刷って、多少配布もするよう形にはなりません。
会長	<p>ほかにご意見、ご質問等はいかがでしょう。よろしいでしょうか。(なし)</p> <p>前回の協議会で申し上げましたとおり、新しい一貫校の平面計画ですね。これについては皆様からのご意見を踏まえた上で方針了承ということになって、今のプールの関係のことも了承という形になりました。この中間報告につきましても、特に今のところ異議がないということですので、その修正したものに</p>

	<p>ついて会長一任ということでご了承いただければありがたいと思います。委員の皆様方、いかがでしょうか。(異議なし)</p> <p>それでは、中間報告の最終校正につきましては、私が確認し、了承した上で確定としたいと思います。完成した冊子は事務局から各委員あてに報告書をお送りさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。今後はより細かな設計内容を決めていく実施設計に移っていきますが、大きな節目には改めて事務局より報告をいただく予定です。では、中間報告についてはどうもありがとうございました。</p> <p>では、次に、議題2の「他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について」、事務局からの報告をお願いします。</p>
<p>教育改革推進課長</p>	<p>済みません。校名・校歌に入る前に、こちらで変更点をご説明するのをちょっと忘れておりました。前回の協議会から今回の基本設計で変更させていただいた点は、1階部分、当初、小学校の部分から大アリーナに室内を通っていくような形になっていましたが、やはり中庭から逃げ場がなくなってしまうといけないということで、外廊下で屋根をつけるような形に変えさせていただきます。</p> <p>また、2階部分の真ん中、今、図工室となっているところが武道場兼交流室とする予定でしたが、柔道ですとか、そういうことをした場合、どうしても音の面でかなり厚くしなければならぬことになりまして、そうしますと、天井高がかなり低くなるということで、3階にあります小アリーナの一番西側のほうに武道場兼交流室の場所を変更させていただいております。3階に持っていくことによりまして、天井高がかなりとれるような形にさせていただいております。</p> <p>また、その下のオープンスペース、前は教室にしておりましたが、当面、オープンスペースとして活用して、教室等が足りなくなった場合、将来的にこちらを教室に変えさせていただくような形で考えております。</p> <p>以上が前回より変更してございます。またこれに先ほどお話しさせていただきました屋上部分のプール、2カ所にプールがあるような形に変えさせていただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、資料2の「他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について」ですが、前回、ほかの自治体で一体どうしているのか、まずはほかの自治体の事例をお話しさせていただくということでまとめさせていただきました。</p> <p>今、施設一体型の小中一貫教育校はそれほど数も多くないものですから、品川、渋谷、練馬、視察いたしました足立区の新田学園、あと港区に1カ所ありますが、その中でやはり一番多いところが品川区でしたので、そちらからほか</p>

の学校ではどうしているか簡単に説明させていただきます。

品川区は平成23年度まで5校開校しており、豊葉の杜学園というものが平成25年1月に開校予定でございます。こちらは、杜松小学校と大間窪小学校があって、荏原第三中学校と荏原第四中学校が既に先行統合して、豊葉の杜中学校となっております。こちらは最終的に新しい校舎ができたときに、この統合中学校と小学校の3校を合わせて1つの学校にするということになってございます。ここの協議会と同じような開設準備連絡会というのを設け、それぞれ専門部会、校名・校歌・校章、標準服、開校準備、教育部門と分かれています。具体的に名称、学園名をどういうふうに決めたかということにつきましては、その校名・校歌・校章専門部会で検討して、まずは学校を通してアンケートで募集。考慮すべき点等を記載し、歴史にちなんだ地域性などを盛り込むように考えていただきたいというのを踏まえた上で、さらに氏名と住所と理由を記名していただき名称を募集するというアンケートを行ってございます。学校、地域センターに回収箱を設けまして、1,000ほど候補名が出されたそうです。校名・校歌・校章部会の中でこの中から5つに絞って、その絞ったものを、うちで言います協議会である連絡会というところに上げて、5つの候補の承認し、その5個の候補の中から区長が選び、区長が選んだものを議会で承認されたという形でできております。

品川の場合はほかの事例もある中で、通称名の学園名のほかに、条例上の名称は、基本的には小学校、中学校、1校ずつのときは現行名を使用し、複数校の場合は統合名を使用して、卒業証書等については学園名に合わせて、条例上の学校名を併記するような形でお配りしているということでした。

次に、校歌につきましても、部会の中で他の一貫校でも学園歌を作ったことのある専門家の作詞・作曲家に依頼したほうがいいのではないかということで、松井孝夫さん。この方は品川の荏原平塚中学校の校歌もつくられている方で、9年間公立学校の教師をして、その後、学芸大の講師をしながら、1987年から作曲家として活躍しています。「旅立ちの日に」の編曲とかで有名な方ですけども、最初からそういう専門的な人をお願いしようということで、この方をお願いしたということでした。

校章につきましては、やはり部会の中で2回ぐらいの話の中で、地域のデザイナーにということで、元美術の教師をお願いして、こういったイメージでというのを伝えながら5案作成してもらって、連絡会の中で1つに絞ったというお話を聞いています。

標準服につきましては、標準服がありますが、私服も可で、強制はしないと考えているみたいです。1年生～4年生と5年生～9年生の2パターンになっています。

周知につきましては学区域のみで、特に全域的なところへの周知はしていませんということでした。

伊藤学園につきましては原小学校と伊藤中学校で小中一貫教育校になりますが、原小学校はもともと校歌があって、伊藤中学校にも讃歌があって、「原小」というところを「伊藤」に置きかえてそのまま使っているというお話でした。特に学園歌を設けるものではなくて、それぞれの小学校の校歌、中学校の讃歌をそれぞれ学園歌に変えて、その行事ごとに歌っているということでした。

逆に、八潮学園というところがございまして、こちらにつきましては5校、中学校2校と小学校3校が統合して1つの八潮学園となっていますが、名称が「品川区立小中一貫教育校八潮学園」というのが通称名で、「具体的な小学校名はどうしたんですか」と言ったら、「『品川区立小中一貫教育校八潮学園小学校』が小学校の正式名で、中学校は『品川区立小中一貫教育校八潮学園中学校』を正式名称にしました」ということで、品川だけでもいろいろだということでした。

お隣の渋谷区につきましては「渋谷本町学園」、来年の4月開校になるんですけども、こちらは本町小学校と本町東小と本町中学校と全部「本町」がつくところなので、名称も最初から名称等検討委員会の中で、もう名称は「渋谷本町学園」とか、「渋谷本町何とか」でいいんじゃないかという話になって、具体的にはこの「名称 学園名」にあるとおり、事務局で音（おん）の「しづやほんまち」まで決めて、平仮名「しづや」と漢字の「本町学園」と平仮名「しづや」と「本町学院」と、漢字だけの「渋谷本町学園」と「渋谷本町学園」、この4つに絞って、これをアンケートで「 」をしてくださいという中で一番多いところに決まったということで、名称につきましてもほとんどこの委員会の中で決めてしまったという形でございます。小学校は統合名で「渋谷本町学園小学校」、先ほどの八潮学園と同じように、正式名称に小学校をつけるだけにして、中学校も1校なので、もともと「本町中学校」でいこうかという話だったらしいんですけども、せっかく「渋谷本町学園」という通称名をつけたので、中学校も合わせましょうということで、今回の議会に「渋谷本町学園中学校」という名称での名称変更の条例改正を議案として出しているということです。

次に、校歌でございます。こちらの渋谷区につきましても、個人的なつながり、学校の関係者で専門家に作詞・作曲を依頼するということで、本当は作詩は谷川俊太郎 谷川俊太郎はうちの天沼小学校もですが、谷川俊太郎先生にお願いしたという形です。寄せられた「校歌に込める思い」、こういうものを入れてくれという形で依頼したということです。校歌等を残さずに、新しい学

園歌一本で、式典等ではその学園歌を使うことにしているということです。

校章は、保護者や地域からデザインを募集して、人気投票の中から決定したと。色やロゴマークなどは作成者と打ち合わせを実施したということなので、お金は一切かからず、その提案したものをそのままつくったという形になっています。

標準服につきましても、基本的に1年生～7年生は購入で、8年生、9年生はそのままでいいですよ。将来的には1年生～4年生までのものと5年生～9年生までのものと分けるような形で、ただ、この学校につきましては、なるべくお金がかからないように自宅で洗濯できるようなものにするとか、ポロシャツでもいいよとか、そういう形で標準服をつくっているということです。周知範囲につきましては、区のホームページで全区的に周知したということです。

練馬区はことしの4月に開校いたしました大泉桜学園。こちらはもともと母体となる小学校、中学校が、大泉学園桜小学校と大泉学園桜中学校なので、ほとんど問題なく大泉桜学園に決まったということです。こちらは、小中一貫教育校の立ち上げのためにコンサル会社に委託し、いろんな取り決めを進めていただいているという形です。

校名につきましては、理由を書いた上、アンケートで校名を募集して、498件出た中で、やはり話し合いの上、候補を検討し、協議会的なところでもいろいろご意見を出しながら、最終的な統一校名を決定するという方式をとっています。実質、今の学校とそのままの学園名にしたという状況です。当然のことながら、条例上の名称は1校1校なので、そのまま名前も変わっておりませんということです。

校歌につきましては、コンサル会社のほうから専門家を紹介してもらって、作詩は村田さち子さん、作曲は西澤健治さんをお願いしています。村田さち子さんはNHKの子ども番組の童謡みたいなものをつくられている方ですね。その際に「校歌に入れたい言葉」を児童・生徒から募集しまして、その考え方と募集結果を依頼者に渡して、児童・生徒の思いを込めた言葉を校歌に入れてもらったということです。23年度の入学式では新しい学園歌を歌うということで、旧校歌はそれぞれ小学校、中学校に残してありますが、基本的には使っていないということでした。

校章につきましては、現行の校章を生かして、委員と学校の意向を伝えて、デザイナーによる作成図案を検討して、デザイナーに直接委託してつくってもらったということです。

標準服につきましては、こちらも1年生～4年生までと5年生～9年生までの2パターンで、7年生までは着用任意で、標準服はあるけれども、私服でも

	<p>構いませんよということでした。こちらにつきましても、区のホームページで全区的に周知したということです。</p> <p>欄外に、足立区の新田学園につきましても学園歌がパンフレットに載っていたと思いますが、こちらも従前の学校の校歌はあるんですが、やはり校歌は歌っていないということで、新田学園の学園歌一本で式典で使っているということでした。</p> <p>同じ区であっても、決め方もその学校ごとにばらばらで、やはりこういう協議会の中で、皆様のお話の中でどうしていこうかと決めている状況です。余り参考になったかわからないんですけども、こちらにつきましても基本的に決め方からどうするかというお話になっていこうかと思えます。</p> <p>具体的には、考え方としてはまずは2つの考え方があると思います。最初に学園名という一般通称名を決めて、決まったらそれをそのまま小学校にも横引いて、そのときに中学校はどうするか。せっかくだから変えるのか、そのまま残すのかというパターンと、まずは条例設置上にする新泉小学校と和泉小学校の統合名を決めてしまって、小学校と中学校はそれにしておいて、通称名はみんな募集ですとか、新しい校名をつくりましょうとか、どっちを先にするか。学園名を最初にするのか、小学校の統合名を先にするか、まずはどっちからやったほうがいいか、その辺からいろいろ話し合いの中で決めていくことになるかと思えます。そんなに急いでことしにつくらなければということでもございませんので、いろいろご意見を聞きながら進めていきたいと思っております。よろしくお願ひしたいと思えます。</p>
会長	<p>まだ今すぐということではないでしょうけれども、まず、今の説明に関するご質問ですとか、ございましたらお願ひしたいと思えます。</p> <p>渋谷とか練馬は小学校1年生から標準服をつくっているということなんですわね。</p>
教育改革推進課長	<p>一応はありますが、強制はしないということで、品川でも伊藤学園なんかは小学校1年生から制服を着ていますが、逆に八潮学園は余り強制するといろいろ問題が起きそうなので自由にしているというお話です。品川区でよく、杉並の区議会でも言われているんですけども、無理やり高い制服を買わせて、公立の小学校なのに何だというような意見が出ているところも何カ所かあって、一方では、やはりせっかくだから、そんな高いものにしないで標準服をつくりましょうですとか、いろいろあるみたいです。一応は1年生から用の標準服をつくっているということです。</p>
会長	<p>それは小中一貫校だからですか。それとも、そうじゃなくて、もともと小学校の標準服というのは小学校だけでもありますか。</p>
教育改革推進	<p>せっかくの施設一体型の一貫校だからということで決めたようです。ほかの</p>

課長	練馬の普通の小学校は私服だと思います。
副会長	品川区と練馬区は区長が決めたり教育委員会が決定したりとなっていますけれども、杉並区の教育委員会の基本スタンスを教えてください。
教育改革推進課長	杉並区につきましては小中一貫教育校はありませんが、統合校などはこういった協議会の中である程度まとめていただいて、それを尊重するという形にしております。よっぽど奇抜な、ちょっとこれはというものでない限りは皆様に決めていただいたものをそのまま条例上の名称ですとか通称名にしたいと考えています。教育委員会等もそれで多分、これはおかしいという話は今まで出てきていませんので、そういうふうに進めていきたいと思っています。
会長	きょうは決め方についていろいろご意見をいただくという形にしたいと思っています。
委員	今、品川区とか、渋谷区とか、例が挙がっていましたが、杉並でも幾つか一貫校ができてきたわけですね。それはどういうふうにしたんですか。
教育改革推進課長	杉並区はここにつくる一貫校が第1号です。統合した学校というのはありますが、一貫校はここが一番最初になります。
委員	例がないわけですね。
教育改革推進課長	そうですね。例がないので、ここが一番最初の一貫校となります。
委員	杉並で初めての一貫校ということで、慎重に話し合って決めていくべきだなとは思いますが、新泉・和泉地区は非常に地域と密接した学校経営をしてきたところですので、地域の方々、より多くの方々に納得のしていただけるような校名にしていったほうがいいかなと思います。そのように考えてきたときに、校庭のこともそうですし、この協議会が中心になって進めてきたわけですので、この協議会の中で十分時間をかけて、余り急いで決める必要もないというお話がさっき出ていましたので、十分この協議会の中で話し合いをして、なるべく多くの地域の方々に納得できる校名に絞って決めていくという方向でぜひお願いしたいなと思います。よろしく願いいたします。
委員	校名を決める場合に、個々のものよりも、まず1つの学園名のほうを先に提案して、それに基づいて決めていくみたいな形がとれるといいかなと思うんです。公募にすると、選択もすごく大変という話も聞いているので、ある程度この中で幾つかつくった中で、例えばアンケートであるとか、そういうような提示の仕方をして決めていく方向のほうが、余り公募にすると、全然関係のないような名前とかもかなり挙がってくるんじゃないかと思うんです。この1,000ほど挙がったということで、1,000ほど挙がってきてもなかなか選ぶのが大変になるかと思うので、ある程度協議会の中で少し練り込んで、それを

	投げかけるような形の決め方のほうがいいんじゃないかなと思います。
教育改革推進課長	今のご提案は、渋谷区ほど名前まで決めるんじゃないなくて、ある程度候補を絞ってということですね。そのようにいろんな決め方があると思いますので、ご意見として、最終的にどうするかという。
委員	3校が一緒になることで、やはり各学校それぞれの歴史というものがあって、各学校に対する思いもそれぞれお持ちだと思うので、ぜひ各学校の思いをここで一同にぶつけていただいて、それぞれが本当に納得いく形で決めていただく形にぜひしていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。
委員	校名を決めたりということで、各学校の子どもたち、今いる子どもたちがこれからこの地域で1つの学校になるんだよということで、子どもたちは結構いろんな発想があるので、子どもたちにアンケートというか、もしここに一緒になったらどんな学校がいいかねとお互いにお友達同士で話し合うような機会が出たりして、アンケートをとってみるといのもどうなのかなとちょっと考えましたけれども。
教育改革担当部長	きょう初めてこういう話になりますので、ざっくばらんに順番で結構ですから、私はこういうふうに考えると、1回出してもらったほうがいいかなと思うので、どうでしょうか。
委員	今、案としては子どもたちにでも、子どもたちに聞いてしまうと、それで決めないとかわいそうかなということになってしまふかななんて思ったりもしたんですけども、子どもたちに出してもらおう案と、あと、余り広げすぎると収拾がつかないと思いますので、やっぱりこの間、ずっと設置協議会でいろいろ見てきたり、設計図を見てきたりしている私たちの中から案を具体的に出して行って、その中で多分かぶったりする名前も出てくるかもしれない。そこからみんなで絞り込んで、そしてさらに1つと。それが一番問題ないんじゃないかなと。地域の皆さんはこの委員さんにお任せいただくということで、ある程度よし悪しで、全員がいいよなんていうのは出るわけないけれども、でも、常識の範囲で皆さん、ここで出たものをよしとするが一番いいんじゃないかなと思います。時間をかけてと思います。
委員	私は、今回配付された資料2の渋谷の情報を見て、ああ、いいなと思ったのは、まず、今回の3校合同の一貫校ができる地域が和泉地区ということで、「和泉」という名前を載せるのがいいのかなと。 あと、現状の新泉小学校の校名の経緯は、設立当時は「和泉小学校」で開校されたというのがホームページに載っていたので、現在の和泉小学校は新泉の分校という過去の経緯はあるんですけども、もともとは「和泉小学校」でスタートした学校だということがわかりました。そういう意味で、「和泉学園」という名前もいいのかなと思って、インターネットで「和泉学園」を検索した

	ら、大阪のほうに少年院の名称で「和泉学園」があって、インターネットで「和泉学園」を引いたときに少年院が一発目でひっかかるというのもよろしくないかなということで、今回の渋谷の例を見て、ああ、これはいいなと。「杉並和泉学園」という形にするのがいいのではないかなと個人的には感じております。その後に小学校、中学校という名称をつけることによって、小・中が識別できるという形は何かシンプルでいいかなと思っています。
会長	新泉小学校の経緯はちょっと違うので、それだけ説明を……。
副会長	「新泉小学校」という名前は、その当時、神田に「和泉小学校」というのもうあって、同じ名前は使えないという条例になっていたんです。なので「新泉小学校」になったので、最初から「新泉小学校」なんですね。
委員	開校当時は「奥多摩郡和泉小学校」で開校されていて、その後に東京市が設立されるときに、東京市の中で「和泉小学校」が別にあったので、「新泉小学校」という名前に改名されたと聞いています。尋常小学校の時代は「和泉小学校」だったというふうに聞いています。今の新泉のホームページに出ています。
会長	ホームページに出ている……。じゃ、それはまた調べて、開いて見てもらって。
委員	学校名は思いのある方もいらっしゃると思うので、そういう方の意見を聞くのも大切だと思いますし、あと今、同窓会を立ち上げようとしているという話を聞いています。そういう中でも意見がある方はいらっしゃると思うので、そういう方にいろいろまとめていただくのもいいかなと考えているので、どうでしょうかということですね。
委員	私もそんなに具体的にはまだ余りイメージできないんですけども、やっぱり学園名、ここの地域にできる学校ということでみんな考えていくのが第一で、条例上の名前はまた学園名を決めた中で決めていくという形がスムーズなのかなと思います。やり方については余りまだイメージできていないんですけども、たくさんの人にお話を聞いた中で、ここで絞り込むという形でもいいのかなと思っています。
委員	先ほどもお話ししましたが、私は子どもたちに提案してアンケートというと、家庭の中でも家族ぐるみで「何がいいかね」と、きっと話題になると思うんですね。そういう強い思いがワーストと上がってくるような気がするので、私はそれをやってほしいなと思います。
委員	こちらに先ほどおっしゃった方がいらっしゃるけれども、私はこの和泉の土地で生まれて育ち、この小学校は大宮小学校から分かれてできましたよね。これから長い時間、この学校がつながっていくわけですね。そういうことを考えて、この「和泉」の地名に絡んだような意味合い、あるいは「和泉」というものを何とか形を変えてでも組み込んでいただきたいというのが私の望みで

	<p>す。あとはそのいろいろの組み合わせですけれどもね。それだけお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>学園名はやはりこの土地の名前をそのままつけばいいと思うんですが、条例上の名前は、私は新泉小学校を出ているのでやはり愛着はあるわけで、それが条例上で残るような形にしてはいかかかなと思うんですけれどもね。</p> <p>それから、さっき沿革の話があったわけですが、最初は豊多摩郡と言って、豊多摩郡和田堀ノ内村。これは、和田村と堀ノ内がけんかしちゃって、両方引かないものだから一緒くたにしたという、何かもうおかしな形で和田堀ノ内村。和泉はそのころ力がないから、字になっちゃったんですね。和田堀ノ内村字和泉。大宮小学校が先にできているわけですから、大宮小学校の「和泉分教場」と。だから、「和泉小学校」と言っていたのは、あれは「大宮小学校和泉分教場」という形で発足して、先ほどの市制に伴って、神田に「和泉」という女学校があるから、重複するということで「新泉」になったと私は聞いているんですね。だから、学園名と条例上の名前をうまく併用すれば、何しろこれは和泉の町なんですからね。新泉の人たちもそれでそうこだわることはないんだらうと思うんですけれどもね。</p>
委員	<p>今もいろいろと歴史などを伺いましたけれども、新泉の方は代々新泉を卒業しているという意識がすごく強いようにも思って、皆さんそれぞれの学校の愛着があると思うので、簡単にすぐ「はい」と決めるわけにはいかないのかもしれないと思います。みんなでいろいろ意見を出し合って決めていったらいいと思いますが、やっぱり「和泉」というこの地域の名前は何かの形で残していきたいなと思います。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>杉並区でも初めて小中一貫校をつくるわけですよ。まずは学園名、みんな新しい学校をどうつくるかという名前を検討していくのがいいのかなと順序的には思います。</p> <p>それから、今、具体名として「杉並和泉」ということが出されましたけれども、多分そういうのを聞いた途端に、「あっ、新泉の名前を残さないで和泉の名前を残すのね」というような反論がすぐ出てくると思います。だから、さっきから皆さんが慎重にというのはそういう意味なんだろうと思います。何でそうなったかというところがきっちりとお互い不公平感がないような形で決めていけば、どういう名前に落ちついてもみんなが納得してくれる。もともとは根っこは1つの地域だなと思っています。そういう意味では、母体校であった新泉小という思いは新泉小の卒業生は非常に強いので、そこが納得できるような名前の決め方をしていただければありがたいなと思っています。</p>
委員	<p>先ほど言いましたように、学園名のほうを決めていくということと、あと、両方の学校に不公平感のないような形で、ちょっと時間をかけていろんな案を</p>

	出して、小中一貫校は初めてということなので、校長先生と同じように両方の地域で納得できるような、いい名前ができるといいかなと思っています。
委員	今、校長先生が言ってくださったのとほぼ同じなんですが、確かに和泉地区なので「和泉」という名前は何かの形でという思いがきっと皆さんあるのでしょうか、やはり新泉の保護者、生徒たち、卒業生の方たちもみんなが納得できるような公平な名前にぜひ時間をかけてしていただければありがたいなと思います。よろしくお願いします。
委員	私も何人かの方と同じような意見なんですけれども、私も地元で育ってきたので、「和泉」という名前も残しつつ、意味を含めた、お子さんたちにアンケートをとってという感じの未来につながるイメージみたいなものも含めた何かいい名前、公平な名前が決まるといいなと思っています。よろしくお願いします。
委員	私の番に回ってくるまでにいろんなご意見を聞いていると、基本的に争いを好まないのでもノーコメントにしたいくらいなんですけれども、「和泉小」の「和泉」をとるとかではなく、やっぱり土地の名前が「和泉」なので、地域の方には浸透しやすいかなという部分はあります。「杉並和泉」になったとしても、この地区以外の方でも「杉並のあの辺にできたのね」というのがわかるのは、ある意味宣伝効果にもなりますし、モデル校にもなればいいなと思いますので、やはり子どもたちの意見も十分取り入れて、その次が保護者、その次が地域というわけではないんですけれども、学ぶ本人の意見を尊重したいなと思います。慎重に決めていただきたいと思います。
委員	3校にみんな不公平感がないようにというのはそのように決めて、今、練馬区のに「桜」という字が入っていてすごくきれいだなと思ったので、例えば芝生があるので「緑」というのを入れた校名とかもいいかなとちょっと思いました。
委員	私もこの和泉の地に生まれて、和泉の地に育てていただいたうちの一人ですけれども、やはり未来を託す子どもたちのために、本当にいろんな討議をして、不公平感が残ったような校名だけにはならないように、子どもたちのためになるような校名になってもらいたいという思いでいっぱいです。
委員	私も皆さんと同じで、余り大きく名前が変わるのも何か浸透していないなという気もするんですけれども、やっぱり「和泉」というと、「あっ、和泉小」とかいう気持ちが新泉小の方たちに出てきてしまうんじゃないかなというのが本音で、じゃ、どうしたらいいんだというところすごく困ってしまいますが、やっぱり子どもたちにちょっと聞いてみるとかするのもいいかなと思いました。皆さんで話し合っ、これから決めていってほしいかなと思います。
委員	全くイメージがないところでの意見で申しわけないんですけれども。いろん

	<p>な方と重複するところはたくさんあります。今現在、関係のある子どもたちの意見を、子どもたちからアンケートをとるというのはすごくいい発想だなと思いました。大人たちだけで決めるのもなかなか難しいので、純粋な気持ちである子どもたちからアンケートをとってみて、そこから幾つか候補を決めて、またこの中から意見を幾つか出したうちから幾つか候補を挙げて、その中から決めるということで、幾つかの中から決めていく方法がいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>先ほど意見を述べさせていただいたんですけれども、もう一つちょっとつけ加えると、春に本校、新泉小学校は85周年をやったんですね。たくさんの方に参列していただきましたが、あの場所に学校がなくなるということをすごく寂しがっている方がたくさんいらっしゃいます。具体的に「和泉」という名前か「新泉」という名前かという問題ではなくて、物理的にこちらのほうに移動してきてしまうということでも非常に寂しい思いをしている新泉の卒業生の方がたくさんいらっしゃるということを本当に親身に感じましたので、校名を決定するときには本当に慎重に、そういう方々の新しい学校に対する思いを枯れさせないような決め方をしていきたいな、決めていただきたいなというふうに切に思いました。</p>
委員	<p>私も余り考えがまとまっていないんですけれども、やっぱり地域の方が納得する名前ではなくてはいけないなと思っております。和泉小学校もあと4年でここ自体がなくなってしまう、閉校してしまうということなので、和泉小学校はなくなってしまいます。ですので、この地域の学校として名前は残したいなという思いもありますし、新泉小学校の思いもよくわかります。ですので、やっぱり慎重に慎重にして、学園名を先に決めるか、やっぱり小学校を先に決めて、条例の名前をしっかりと決めた後、学園名に行くのか、そういうことも考えていきたいなと思いました。</p>
委員	<p>内藤会長のお話を聞いて、この「新泉」という名前の由来ですとか、「和泉」という名前の由来ですとか、これから新しく決めるに当たってしっかりと昔のことも皆さんで知っておきながら、そして、新しいことを考えていくのはすごく重要な、大事なことなのかなと感じました。またいろいろこの土地の昔のことを教えていただきながら、またそこから何か新しいヒントや新しい名前が浮かんでくるのではないのかなと感じましたので、ぜひまたこの協議会の場でも新泉や和泉の歴史を少し教えていただきながら進めていけたらと思っております。</p>
委員	<p>いろいろとあると思いますので、1つは丁寧に決めていくということが大事かと思えます。基本的には協議会をベースにして、丁寧に、後に残さないような形で決めていってもらえばいいと思います。</p>

会長	<p>基本的に幾つか案をそれぞれ出し合って、重複するものがきつと出てくると思うんですよ。そこで議論して行って、何本かに絞っていく。その幾つか案を出すときに、子どもたちからもしいいのがあれば聞いてみるというのでもいいかもしれないけれども、余り子どもの意見を多くとると、それに縛られてしまう。せっかく出したのに、何でそういう学校名にならなかったのかというのは、やはり未来については子どもたちだけでも、この土地にはこの土地の歴史があって、地域に住んでいる方がいらっしゃるの、そちらも大事にしなければいけないと私は思います。ですから、やるとしても、子どもにはほかにもししいい意見があればというので、ある程度募集していくこともやってもいいのかなと。やらなくてもいいとは思いますがけれどもね。その辺は少し議論していくことだろうと思います。</p>
委員	<p>9月26日の資料に、統合新校の校名の選定方法というので、アからオまで決めてあるんですよ。だから、これを下敷きにしてどれを選ぶか。今、その中には、例えば児童に聞くというのはエの中にあるんですから、これは前に9月26日で既に決めてあるんですから、これをさらに発展的にされたいかがでしょうか。</p>
会長	<p>そうですね。9月の時点でそういういろいろなやり方があって、ほかのところはどうなんだろうというので、きょう調べて出してもらったということですね。</p> <p>それでは、今、いろいろと具体的な名前も出てきたりしてきていますけれども、教育委員会のほうにまず伺っておきたいのは、多分、校歌の準備だとか、そういうことも関係するかと思うので、どのくらいのスケジュールで、まず名前が決まらないと、校歌も校章もイメージできないような気もするので、どの辺の時期が妥当なのかお伺いしたいと思います。</p>
教育改革推進課長	<p>最悪のことを考えれば、26年度の夏までにできれば、その後、校歌をつくっても間に合いますが、まだそのほかにも学校名が決まることによって決めていくこともいろいろありますので、できれば来年度中ぐらいには決めていただきたいなと思います。24年度中のどこかのところではある程度学園名ないし学校名を決めていただいて、その後、ほかの課題、通学路ですとか、標準服をどうするか、当然次は校歌とかも出てきますので、ちょっと余裕を持って来年度中ぐらいには何とかお願いしたいなと思っております。</p>
会長	<p>来年度中にどうにかしたいということですね。では、そういうスケジュールで、余裕を持ってやりたいと思いますので、よろしいでしょうか。</p>
教育改革推課長	<p>アンケートをとって、集計にそれだけでも3カ月かかったりもしますので。</p>
会長	<p>ちなみにもう一つ、永福・永南はアンケートとか、そういう方法はとっていい</p>

	るんですか。
学校適正配置 担当課長	<p>今、永福と永福南を統合するということで、25年4月に統合新校として開校しますけれども、現在、ちょうど新しい学校名をどうするか決めている最中です。それで、両校から出ているのは、きょうお話に出たような意見がやはり出ていまして、どちらの学校名にしても吸収されたようなイメージがあるなどという意見がありますが、ただ、永福もあの辺の地名が「永福」なんですね。ですから、「永福南」も「永福」がついているということで、その地域の名前をやはり入れてほしいというのが皆さんの意見でした。</p> <p>ただ、そこで拙速に決めることはよくないので、アンケートをやはりしようということで、その学区域の町会さんも含めて、すべてに各戸配布をしてご意見を聞くということです。要するに公募をするということだと、多い名前に決めなければいけないという縛りがかかってしまうので、公募ではなくて、「地域の名前がいいという意見が協議会では出ているけれども、あなたの意見はどうですか」ということで現在意見を聞いているところで、12月の中旬まで意見を募集しているということです。今度、その意見を踏まえて、1月から2月、最終的には3月までに校名を決めていくということで今やっています。その後、校歌、校章をどうしていくか決めるということで、まだ決定はしていませんが、今そういった議論をちょうどしているという方向で、アンケートという形で意見を募集している状況です。</p>
教育改革担当 部長	<p>あと、ついでに、たまたま永福小と永福南小の新しい名前を詰めるということで、広報にも載せたらいろんな意見が出てくるんですけども、おもしろいなと思ったのは、永福南小学校は永福小の分校という理解をしている人が結構多いんですね。先ほどの新泉小学校の歴史もやはり誤解している人とか、知らない人も結構多いと思うんです。そういう意味で、たまたま永福南小学校は永福小から分かれたときは50人ぐらい生徒が永福小から行って、一番多いのは高井戸第三小学校から170名ぐらいで、高井戸第三小が一番多いんです。和泉小からも70人ぐらい行っているんですね。永福小は北のほうへ広がって、大宮小から40人か30人ぐらい入っているんです。そういうふうに学区が変わって、永福南小学校が新しくできたんですね。そういう過去の経過を意外とみんな知らないで、勝手に思い込んでいる場合もありますので、そういう意味で新泉小と和泉小の過去の経過とかをよく踏まえて、理解した上で議論をして、皆さん方でいい名前をつくってもらえればよろしいかなと思っています。</p>
会長	永福・永南は統合の2年前までに名前が.....。
学校適正配置 担当課長	来年、ちょうど1年ですね。

会長	来年1年間だけですものね。
学校適正配置 担当課長	この校名を協議し出したのは実は10月からです。やはり一番デリケートな部分なので、それで両校の関係が悪くなってしまっはよくないということで、これまではどちらかという新しい校舎の改修であるとか、あそこは体育館を新しく改築しますので、そういった施設の中身の話で皆さんがいろいろ意見を出し合って、それで気持ちが通い合った上で、いよいよ校名をとということで、実はここ2カ月ぐらい前に始まったという状況です。
委員	教育委員会にちょっとお伺いしたいのですが、杉並第五と若杉と、2つの小学校を統合していますよね。これは全く名前の違う学校が1つになったので、あれは9月ごろいろいろ検討したみたいだけれども、どう決まりましたか。
教育改革推進 課長	そうですね。あそこもどういうコンセプトで学校を決めようかという中で、たまたま若杉も杉並第五も地名がついていなかったの、やっぱり地名のほうがいいんじゃないかというお話も出ましたが、一応アンケートをとりましょうということで、あそこは初めての統合校ということもありまして、本当に杉並区全域にアンケートを募集して、その中から協議会の中で絞って行って、全く多い数ではないんだけど、やはり地名がいいかねということで、最終的に「天沼」に決まりました。そのときに約束事で、天沼小学校の場合に関しましては杉五と若杉両方の名前を使うのはやめて、全く新しい名前にしようという協議会の中の合意をもとにアンケートをとったという経緯です。
委員	条例上もそれになったわけですね。
教育改革推進 課長	条例上も「天沼小学校」ですね。
会長	今いろいろご意見をちょうだいしましたけれども、この話はこの先長い話になるんですね。来年1年間かけて決めていくことになると思うんですけども、具体的にどういうふうにしていくのか、手続きも含めて、またこの協議会で改めて議論したいと思いますので、よろしく願いいたします。 では、事務局のほうからほかに何かございますか。
教育改革推進 課長	それでは、今日いただきましたご意見をざっとまとめたものを、会議録を見ていただいてもわかると思うんですけども、簡単にこういうのが出ましたというのをまとめさせていただくと、あとやはりこれまでのこの辺の地域、どういうふうな歴史があるかを調べて、あわせて資料とさせていただきたいと思います。 具体的にはこちらのほうでももう少し考えまして、適当な資料があれば、進め方ですとか、もう少し資料もお配りさせていただきながら、次はもう少し深まった意見をいただけるようにしていきたいと思います。 次回につきましては、先ほどお話しさせていただいたとおり、それほど急い

	<p>でどうこうということではございませんので、大体1月の終わりぐらいでよろしいですかね。次の会場は今度、順番でいきますと和泉中学校になりますので、和泉中学校で開催させていただきたいと思います。あと日程等につきましては、会長と協議の上、またご連絡させていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>では、また間近になりましたら開催通知を送らせていただきますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、ほかにご質問等はまだよろしいですね。(なし)</p> <p>では、本日はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>